

第3次みのかも環境まちづくりプラン
(美濃加茂市環境基本計画)

令和2年3月

美濃加茂市

1 第3次みのかも環境まちづくりプランについて

(1) 目的

本市では、美濃加茂市環境基本条例に基づき、平成15年3月に環境基本計画である「みのかも環境まちづくりプラン（第1次計画）」を策定し、総合将来環境像『自然を友とし 環境を育み 未来に引き継ぐまち みのかも』の実現に向けて、取り組んできました。

その後、日本では、東日本大震災が発生し、電力不足を補うために化石燃料への依存度が高まったことで温室効果ガス排出量が増加し、特に国の地球温暖化対策や再生可能エネルギーの分野において課題を抱えたままになっています。

一方、世界では「持続可能な開発目標（SDGs）」の採択、及び「パリ協定」の締結等が行われ、その実現に向けて動いています。私たちは、地球温暖化対策、ごみ問題、生物多様性保全対策を、政府や産業界だけでなく地方自治体や市民も自らの課題として認識し、行動を起こすことを求められています。

第3次みのかも環境まちづくりプランでは、第6次総合計画の環境施策方針に基づき、取組の方向性や長期的目標については、これまでの方針を継承しつつ、社会の動向を注視し、新たな課題の解決を図ります。

(2) これまでの取組

第1次計画、第2次計画で、総合将来環境像『自然を友とし 環境を育み 未来に引き継ぐまち みのかも』を継続し、その実現に向けて「自然環境」「生活環境」「地球環境」「共通基盤（環境教育等）」の分野で、市民・事業者・市が共同で取り組む重点プロジェクトを推進してきました。平成28年度の第2次計画見直し版では、重点プロジェクト4つに焦点をあてて取り組んでいます。

自然環境

生物多様性を守るプロジェクト

生活環境

循環型社会をつくる4Rを推進するプロジェクト

地球環境

地球にやさしいエコタウンプロジェクト

共通基盤（環境教育等）

次世代につなげる環境教育プロジェクト

(3) 課題

総合将来環境像『自然を友とし 環境を育み 未来に引き継ぐまち みのかも』を実現するために取り組むべき課題が、次のように見えてきました。

1 生物多様性を守るプロジェクト

●美濃加茂市と加茂郡は一緒に「生物多様性加茂プラン」という計画を作りましたが、今まで、一体となって計画を実践していくという例がありません。

2 循環型社会をつくる4Rを推進するプロジェクト

- 次のような「ごみ」は、もっと減らせるはずですが、減っていません。
- ポイ捨てや不法投棄のごみ
- ごみ集積所に正しく出されていないごみ
- 食品ロス
- すぐに捨てるのに受け取ってしまう無料の袋やプラスチック容器

3 地球にやさしいエコタウンプロジェクト

●地球温暖化や最近の異常気象についてはたくさんの情報がありますが、一人ひとりの意識の高まりや行動につながっていないように思われます。

4 次世代につなげる環境教育プロジェクト

- 環境にやさしい取組をもっと広めたいという人が少ないようです。
- 環境についての知識をお年寄りから若者へ伝えていく機会が少なくなっています。
- 環境の専門家との連携が不足しています。

言葉の意味 4R：ごみ減量につながる「R」から始まる4つの行動のこと。①必要でないものは断る「リフューズ Refuse」②発生させない「リデュース Reduce」③再利用する「リユース Reuse」④再資源化する「リサイクル Recycle」。

食品ロス：本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のこと。

2 総合将来環境像

将来、美濃加茂市を「こんなまちにしたい」というキャッチフレーズです。

自然を友とし 環境を育み 未来に引き継ぐまち みのかも

身近な自然に親しみ、そのなかで楽しみながら暮らすことをしています。

まわりを見渡してみると、自然も街並みも、人が手をかけていると安全で暮らしやすいと感じます。

自然に親しみながら生きる暮らしの知恵を、まちぐるみで子どもたちに伝えていこうという意志を表しています。

3 計画の位置付けと期間

(1) 位置付け

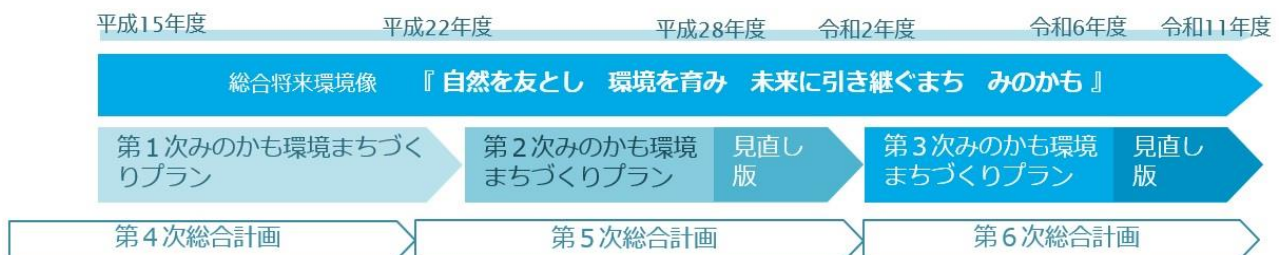
平成13年4月1日施行の美濃加茂市環境基本条例の規定に基づき、美濃加茂市の総合的な環境施策を推進していくための計画として、美濃加茂市第6次総合計画を環境面で補完します。

また、国の環境基本法に基づく「第5次環境基本計画」、岐阜県の「第5次岐阜県環境基本計画」との整合と、市の他の計画との連携を図ります。

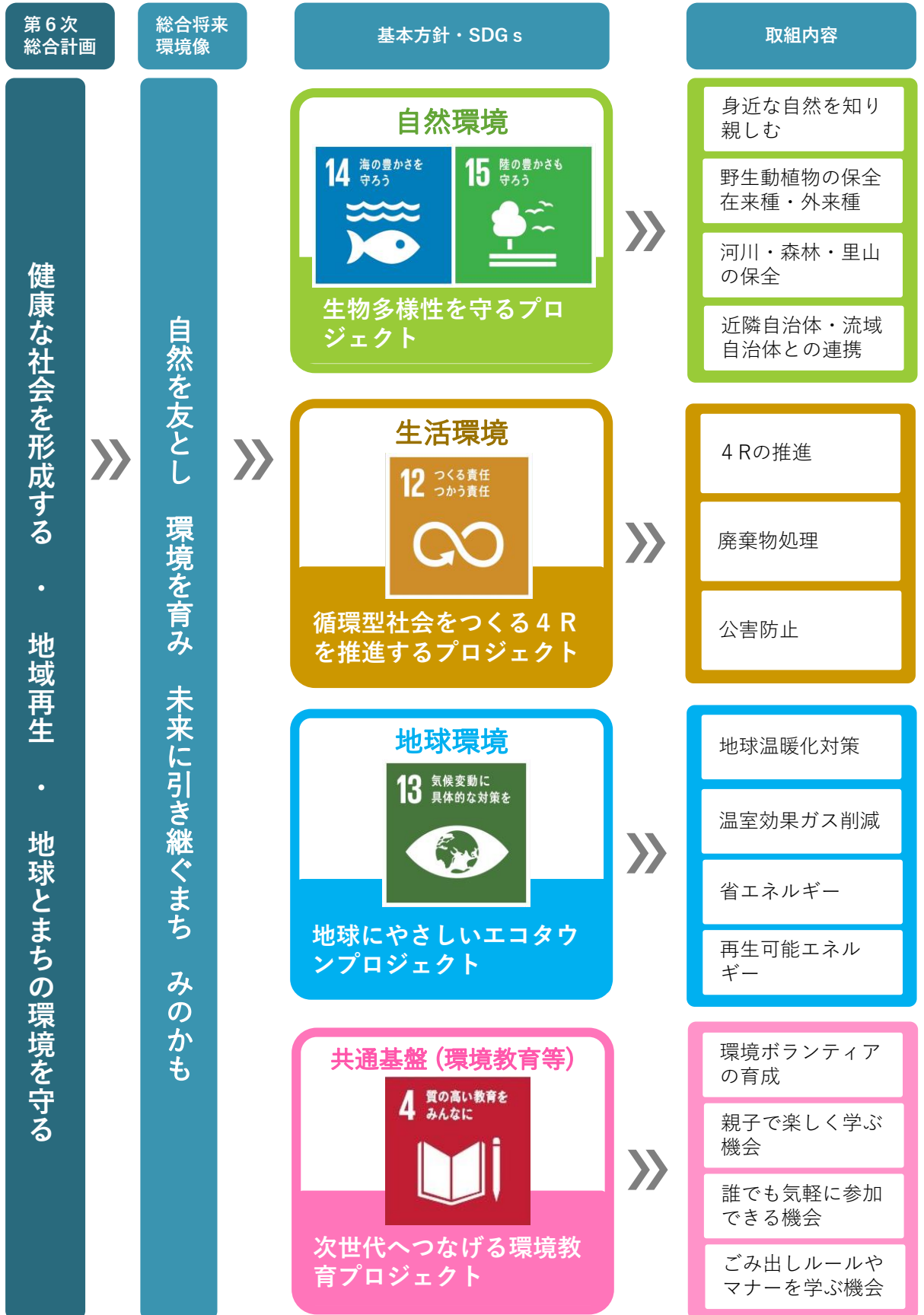
(2) 期間

総合計画の期間と整合性を図るため、令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間とし、自然環境や社会情勢の著しい変化などがあった場合には、必要に応じて計画の見直しを行います。

また、第1次計画で、総合将来環境像、将来環境像、将来イメージの長期的目標年度を平成34年度（令和4年度 2022年度）としていましたが、令和11年度（2029年度）まで延長します。



4 第3次みのかも環境まちづくりプランの取組体系



5 具体的な取組

1 生物多様性を守るプロジェクト

- 自然観察や里山歩きをしながら学びましょう。
- 新●書籍「守りたい加茂の豊かな自然」に掲載された写真の、実物を見てみましょう。
- 外来種の調査・駆除に参加しましょう。
- 新●植物や生きものの調査を続けましょう。
- 里山等の整備と有害鳥獣の調査・駆除を行いましょう。

2 循環型社会をつくる4Rを推進するプロジェクト

- 景気や買取価格に左右されないような資源回収をすすめましょう。
- ごみ減量や食品ロスの講座に参加しましょう。
- 新●いつも買物用のマイバッグを持ち歩きましょう。
- 新●すぐにごみになる容器や袋は受け取らないようにしましょう。

3 地球にやさしいエコタウンプロジェクト

- 新●地球温暖化について「本気」で考えてみましょう。
- 野菜は美濃加茂産が一番新鮮です。旬を楽しみ、天候との関係も注意してみましょう。
- 車を運転するときは、エコドライブをこころがけましょう。
- 再生可能エネルギーやLED照明を取り入れてみましょう。

4 次世代につなげる環境教育プロジェクト

- 環境フェアや環境講座に参加しましょう。
- いろんな環境問題について、専門家から多くの知識を学びましょう。
- 出前講座やカワゲラウォッチングの授業で子どもたちに伝えましょう。
- 新●だれもがごみ出しのルールやマナーを学べる場をつくりましょう。

※市の取組として、環境の課題解決につながる66個の事業があります。

6 めざす将来のすがた

	将来のすがた	成果指標	現状 平成30年度	目標値 令和11年度
1	豊かな自然環境に楽しみを見つけて暮らしている	生物多様性加茂プランによる現地の活動回数（年間）	—	5回
2	ごみについて生活スタイルを見直し、モラルの意識が向上している	1人1日当たりの可燃ごみ排出量（生活系）※	589g	570g
3	地球温暖化についての意識が高まり行動につながっている	再生可能エネルギー導入件数（家庭・事業所 累計）	2,729件	3,000件
4	1人ひとりが環境問題に関心をもち、未来の世代へ伝えようとしている	環境学習や環境ボランティアの参加人数（年間延べ人数）	28,500人	30,000人

※出典：環境省「日本の廃棄物処理 平成29年度版（平成31年3月発行）」
廃棄物処理法による算出方法で、市民団体や学校PTA等が行う資源回収の紙類等回収量「集団回収量」を含む。

参考：全国1,741市区町村の平均 920g。人口5万～10万規模の平均 650g。岐阜県平均 892g。
美濃加茂市は全国454位県内21位。可児市569g全国354位県内18位。

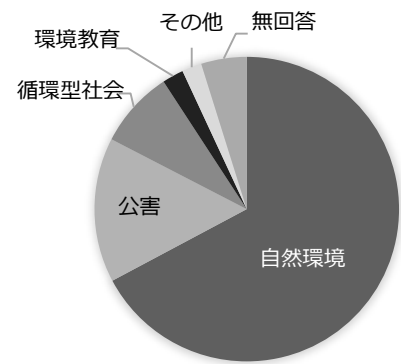
7 推進体制と進行管理

- 市民・事業者・市の3者が連携し、パートナーシップの下に計画を進め、多くの市民が参加できるような仕組みで、重点プロジェクトを推進します。
- 行政サービスマニュアルによるPDCAサイクルを活用し、関係課と連携して全庁的な体制で計画の実現を図ります。
- 美濃加茂市環境基本条例第13条に基づき、本計画に関する事業の実施状況について、年次報告書を作成し公表します。

8 市民の意識 (平成30年10月市民満足度調査結果)

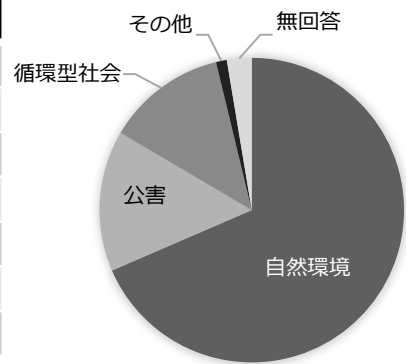
(1) 日常生活において、環境に関して満足度の高いものは何ですか。(複数回答)

分野	回答	割合 (%)
自然環境	豊かな自然	52.2
	きれいな水と空気	36.8
	田畑が多い	26.4
公害	自動車や事業所などの騒音、振動、悪臭が少ない	26.4
循環型社会	地産地消	14.1
環境教育	環境について学ぶ機会や場所がある	3.9
	その他	3.6
	無回答	8.3



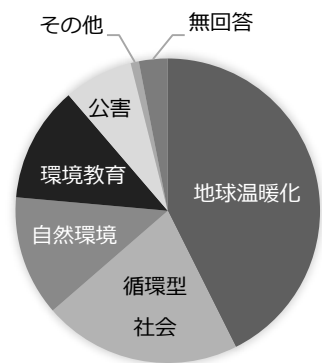
(2) 将来に残していきたい美濃加茂の環境資源は何ですか。(複数回答)

分野	回答	割合 (%)
自然環境	豊かな自然	59.3
	きれいな水と空気	50.2
	手入れされた田畑や果樹園	33.9
公害	清潔で整備された街並み	31.3
循環型社会	市民団体や事業者による資源回収	26.7
	その他	2.4
	無回答	5.5



(3) 関心のある環境問題は何ですか。(複数回答)

分野	回答	割合 (%)
地球温暖化	地球温暖化	59.0
	資源とエネルギー	29.0
循環型社会	ごみとリサイクル	43.4
自然環境	野生の動植物(在来種、外来種、有害鳥獣)	26.4
環境教育	子どもの環境教育	25.4
公害	公害	15.2
	その他	1.8
	無回答	6.3



(4) 環境を良くするために、市民、事業者、行政が共同で取り組めることは何だと思いますか。(複数回答)

分野	回答	割合 (%)
循環型社会	ごみ減量・リサイクルの推進	66.8
	食品ロスの削減	39.9
地球温暖化	緑のカーテンの普及	27.1
環境教育	環境教育のリーダーやサポーターの育成	18.5
自然環境	自然観察会の開催	14.4
	その他	2.9
	無回答	7.6

